

日本JCシニア・クラブ

編集後記

7月19日(土)、20日(日)の2日間、「JCサマーコンファレンス2003」が横浜の地で開催されました。皆様の多数の参加と、ご協力により無事終了することができましたことに厚く御礼申し上げます。

今年のサマコンは、今までとは違った裏方的な存在の広報渉外委員会として参加させていただきましたが、改めてJCのパワーを実感させられることになりました。「日本改新へのソリューション」を外部に、そして全国のLOMメンバーに発信すべく、フォーラム、各種セミナー、イベントが行われましたが、ファイナダー越しに見るメンバーの目は真剣そのものでした。こうしたメンバーを見て、今までもサマコンに参加してきましたが、意識の低かった自分に反省せざるを得ませんでした。もし私のようなメンバーがいたら、これを機会にちょっと無理して、少し無理してみませんか。

一人の青年の力には限りがありますが、50,000通りの志が集まれば、きっと日本は新しくなるのではないのでしょうか。

本誌「We Believe」は全国JCメンバーの価値ある志をこれからも発信してまいりますので、皆様の周りの情報をお寄せいただければと思います。そして皆様が本誌を読んで得たことを、会社や地域の方々に発信していただくさればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

社団法人 日本青年会議所
広報渉外委員会 第1小委員会
幹事 大山良樹

We Believe

ウィビリーブ 2003 August

We Believe 8月号 2003年8月15日

発行人/社団法人 日本青年会議所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3

青年会議所会館内 TEL03-3234-5601(代)

編集人/中村 亘

企画・編集協力/株式会社 時事通信社 出版局

デザイン・DTP制作/株式会社 デック

印刷・製本/株式会社 太平印刷社

*本誌は再生紙を使用しています。



横浜 JC

わがLOMのシニア・クラブ
友情こそ、宝だ!

横浜JCシニアは、会員が1000名を超えました。

私は横浜JCを卒業して13年目になります。先々代あたりから会長選考についての申し送り事項として、40〜65歳の間をとって53歳が会長となる、という流れできています。辛うじて現役後輩にも顔が利き、先輩方についても自分の一回りくらい上まではよく知っている、というのがその理由でした。また、理事長経験者は除外することによって、1990年に専務理事を務

めていた私のところへ、お鉢が回ってきたのです。

そのおかげで、1月の新理事長の所信表明を伺う機会を得ることができ、例会や理事会など忘れかけていた現役の活動にも、再び触れることができました。

シニア会の活動は年3回の行事：新入会員受入式、懇親ゴルフ大会、総会と秋の懇親会、がメインです。そのほか、現役が主役の横浜開港祭や横浜経済人会議など、各種事業に協力をします。さらに、わがLOMからは吉田健二郎先輩が日本JCシニア・クラブ筆頭世話人代表として活躍中ですので、何としてもご支援したいと、役員一同、決意しております。

私が最近感動しているのは、各期の幹事が毎月定例で集まる幹事会の運営です。失敗はすべての役員が責任を取るから、若い幹事を中心に思い切りの良い企

画を立てよう、ということことで、活発に意見が交換されます。その精神は、先代から引き継がれております。特に面白いのが、理屈は無視して自分より若手の意見提案は必ず受け入れる、というものです。そして、どんなに騒がしい会になっても、先輩はニコニコと笑顔絶やさない、というのがルールです。

そのため、過日実施された神奈川県知事選挙に対しても、会員の宝田良一人さんを応援するべきだと、二丸となつて取り組むことができました。少し縛りのある現役よりも、これこそシニア会の力の発揮どころでした。

このような皆の笑顔と前向きな取り組みが、何となく重苦しい経済の閉塞感を吹き飛ばしてくれているのです。

シニア会は面白い！ 友情が笑顔を作り、笑顔が友情を深めてくれます。友情こそ、宝だ！ と思っております。
(横浜JCシニア会 会長 松本純)